

白血病およびリンパ腫、多発性骨髄腫の治療をした患者さん・ご家族の皆様へ

「造血器腫瘍の治療におけるヘルペスウイルス属の再活性化と臨床的意義」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院検査部では、造血器腫瘍（白血病およびリンパ腫、多発性骨髄腫）と診断され、治療を実施した患者さんを対象に、カルテ、手術記録、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報／検体（血液）をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2021年6月1日から2026年5月31日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院血液内科において、造血器腫瘍（白血病およびリンパ腫、多発性骨髄腫）と診断され、診療時に得られた血清を使用し、ヘルペスウイルス属（HSV-1、HSV-2、VZV、CMV、EBV、HHV-6、HHV-7、HHV-8）をPCRで検出します。また、治療を実施した患者さんのカルテ等から、情報を集めさせていただき、「造血器腫瘍の治療とヘルペスウイルス属の再活性化と臨床的意義」を調査します。また、それ以外にも、「ヘルペスウイルス属の再活性化と疾患及び治療プロトコルとの関連性」、「ヘルペスウイルス属の再活性化と治療効果との関連性」についても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院検査部で集計されます。また、検体（血液）は、鳥取大学医学部附属病院検査部でPCRを用いたウイルスの検出を行います。なお、情報／検体（血液）は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究に参加される患者さんは、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報／検体（測定項目）

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

診断時年齢、性別、体重、確定診断日、診断方法、病理診断、血圧、脈拍数、CT/MRI所見、臨床診断、治療効果判定（白血病、リンパ腫、多発性骨髄腫）、既往歴、移植歴、併存疾患名（同時にかかえている病気）、治療プロトコール、臨床病期、血液検査データ（白血球、赤血球、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、血小板数、白血球分画、抗グロブリン試験、AST、ALT、ALP、LDH、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、総コレステロール、中性脂肪、BUN、クレアチニン、TP、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、免疫グロブリン、可溶性インターロイキン2受容体）、尿検査データ（比重、潜血、糖、蛋白、ウロビリノーゲン、沈渣）、骨髄検査（骨髄像検査、表面抗原検査、遺伝子検査、染色体検査）

診療時に得られた血清を以下の測定目的で使用させていただきます。

血清：ウイルスDNA (HSV-1, HSV-2, VZV, CMV, EBV, HHV-6, HHV-7, HHV-8)

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2027年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報／検体（血液）は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の造血器腫瘍疾患の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく患者さんの情報／検体（血液）が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報／検体（血液）は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報／検体（血液）は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報／検体（血液）を研究に用いられたくない、または鳥取大学医学部附属病院／研究代表施設への情報／検体（血液）の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めに希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、令和3年度、科学研究費助成事業（科学研究費補助金）「奨励研究」の研究助成および鳥取大学医学部附属病院検査部の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学

に帰属し、あなたには帰属しません。

11.問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報／検体（血液）が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報／検体（血液）の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

畑山 祐輝 鳥取大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

TEL：0859-38-6871／FAX：0859-38-6870

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)